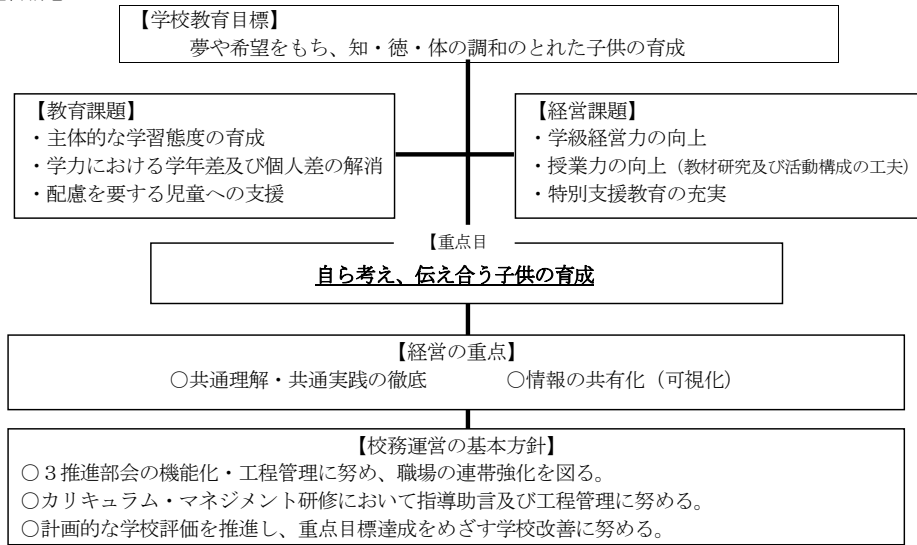


令和2年度 下広川小学校 校務運営構想

(1) 校務運営構想



学校評価	組織・運営	研修・授業改善・教育環境
<p>1 学校評価の機能化</p> <p>◎評価活動スケジュールの管理</p> <p>重点目標の達成状況を教育活動全般にわたって評価し、結果に基づいて改善策を工夫し、さらなる充実を図る。</p> <p>3推進部の機能化</p> <p>【P：計画】</p> <p>○「戦略シート・マップ」による推進部提言の見える化（可視化）</p> <p>【D：実施】</p> <p>○推進部による評価</p> <p>・協働の実践（若年～ベテラン）についての取組評価・結果評価</p> <p>○教育活動評価（学期ごと）</p> <p>○児童・保護者・地域：アンケート</p> <p>【C：評価】</p> <p>○各推進部（協働・担当）による取組・結果評価及び考察（全校朝礼など）</p> <p>○評価検討委員会による各推進部の取組状況の把握及び課題や改善の方向性等の提示</p> <p>【A：改善】</p> <p>○取組評価及び結果評価についての共通理解</p> <p>○改善策の提案と共通理解</p> <p>○週案及び教室訪問による個別の改善</p> <p>学校評価の公表</p> <p>1 学校評価の工程管理</p> <p>○重点目標、学力調査、諸調査等</p> <p>→学校便り、PTA総会、学級懇談会</p> <p>2 学校自己評価の実施</p> <p>○学校運営協議会 5月・2月</p> <p>○教育週間の開催</p> <p>・保護者、地域の願いの把握</p>	<p>1 校務運営体制の確立と運営</p> <p>○校長を中心とした組織的・協働的な運営組織の確立（四者会の充実）</p> <p>○計画的で機能的な運営委員会及び推進部会の運営</p> <p>・課題改善、解決を図る実践（5W1H、可視化）をPDCAサイクルのもと繰り返し、同僚意識の高揚を図る。</p> <p>2 各推進部（知・徳・体）の機能化</p> <p>【知】学力向上推進部会</p> <p>【徳】心の教育推進部会</p> <p>【体】体力向上推進部会</p> <p>※「起案力」「組織力・課題解決力・授業力」の観点からの教師力向上</p> <p>(1) 推進部長を中心とした部会運営</p> <p>① 重点課題の設定</p> <p>② めざす子供の姿の設定</p> <p>③ 具体的な手立ての立案</p> <p>④ 「協働」「担当」による実践</p> <p>(2) 「戦略マップ」の効果的活用</p> <p>① 推進部会からの提言</p> <p>② 情報の共有「見える化＝可視化」</p> <p>③ 週案による学級化</p> <p>(3) 推進部会による「ふり返し」（取組評価・結果評価）の重視</p> <p>3 学年・学級経営の充実</p> <p>(1) 学力向上プランの作成と週案の活用による教育活動の展開</p> <p>※重点目標達成をめざす観点からの自己評価及び指導・助言</p> <p>(2) 重点学年における意図的・計画的な少数指導の実施（主に算数科）</p> <p>(3) 複数教師による個に応じた指導の充実</p> <p>・指改、学力アップ、体育サポ等</p> <p>(4) 自己他者肯定感検査⇒改善・教祖</p>	<p>1 重点目標達成をめざす主題研・一般研修</p> <p>カリキュラム・マネジメント研修</p> <p>○児童の実態把握</p> <p>・国及び県の学力調査・標準学力調査、道徳性アンケート、体力診断テスト、下広スタンダードなど</p> <p>○学力向上に向けた授業改善</p> <p>※自ら考え、伝え合う子供の育成に向けた授業研の改善</p> <p>○課題や研修経験に応じた研修の実施</p> <p>・特別支援教育</p> <p>・ベテラン教員の活用と意識改革</p> <p>※人材育成計画表を作成・活用する。</p> <p>2 日常的な地域人材の活用</p> <p>○校区地域連携推進会議との連携</p> <p>・教育活動への地域人材活用</p> <p>○安全サポートの強化</p> <p>・メール配信による連携強化と安全確保のための地区懇談会</p> <p>・緊急時児童引き渡し訓練</p> <p>3 保護者との連携</p> <p>○学校と家庭による指導の一体化</p> <p>・学級懇談会、個人懇談会の工夫</p> <p>・新家庭教育宣言の取り組み</p> <p>バランスを考えたプラス一品運動</p> <p>○実態把握を図るアンケートの実施</p> <p>・家庭教育アンケート</p> <p>・いじめチェックリスト</p> <p>・「家庭生活、学習状況調査」等</p> <p>○ふれあい活動（11月実施）</p> <p>※学校・家庭・地域連携推進会議</p> <p>4 地域に開かれた学校づくり</p> <p>○地域連携推進会議との連携</p> <p>○保護者、地域への積極的な発信</p> <p>・学級通信の定期的な発行の奨励</p> <p>・公式HPによる教育活動等の発信</p>

令和2年度 下広川小学校 教務運営構想

【学校教育目標】

夢や希望をもち、知・徳・体の調和のとれた子供の育成

【教育課題】

- 主体的な学習態度の育成
- 学力における学年差及び個人差の解消
- 配慮を要する児童への支援

【経営課題】

- 学級経営力の向上
- 授業力の向上（教材研究及び活動構成の工夫）
- 特別支援教育の充実

【重点目標】

自ら考え、伝え合う子供の育成

【経営の重点】

- 共通理解・共通実践の徹底
- 情報の共有化（可視化）

【教務運営の基本方針】

- 知・徳・体の調和のとれた子供を育成する教育計画・実施・評価
- 学力向上・心の教育・体力向上の3推進部の取り組みの充実
- カリキュラム・マネジメント研修の充実と定着

《質的管理》

- ◇ 日々の授業づくり
 - 週案の活用
 - ・ 「2週間週案簿」の作成と、見通しを持った指導
 - ・ 重点項目を週案に明記
 - 表現力を重視した下広小の約束の改善と共通実践
 - ・ 三推進部による下広小の約束（学習面、生活面のきまり）の作成
 - ・ 全校朝会による下広小の約束の評価と月重点目標の提示
 - 教室訪問の実施
 - ・ 下広小の約束の実態把握や児童の理解把握の点から観察、指導・助言
 - ・ 配慮を要する児童の課題や変容を観察
- ◇ カリキュラム・マネジメント研修による指導力向上
 - ・ 毎週火曜日にカリキュラムマネジメント研修を実施
 - ・ 1週目：提案と協議
 - ・ 2週目：反省と計画（週案）を1サイクルとして実施
 - ・ 他の教育活動との関連を図った年間計画を作成
 - ・ 対話力の育成に関する研修の実施
- ◇ 主題研修との関連
 - 授業研究の実施
 - ・ 自ら考え、伝え合う子供の育成に向けた授業研の実施と整理会による改善。
 - ・ グループによる審議
 - ・ 全職員1回授業研
- ◇ 児童の実態や状況の把握
 - ・ 終礼による情報交換
 - ・ 学期末教育活動評価

《教育課程》

- ◇ 教育課程の編成
 - 指導内容の選択
 - 内容の重点化
 - ・ 国語科…「書くこと」「話すこと・聞くこと」
 - ・ 算数科…「数と計算」と「図形」
 - ・ 道徳科…道徳的判断力の育成を重視
 - ・ 学級活動…「食育に関する学級や学校の生活づくりの重視（話し合い活動）」
 - ・ 体育科…「走、跳、投」に関する内容
 - 指導内容の組織
 - ・ 食育の視点から教科、道徳、特別活動に関連して指導
 - 授業時数の配当
 - ・ 国語科・算数科を中心に加配
 - ・ 表現力を重視する時間に加配
 - ・ チャレンジタイム（補充学習）の計画的位置づけ
- ◇ 教育課程の実施
 - 重点教科指導
 - ・ 国語科…表現活動やスキルタイムとの関連指導
 - ・ 算数科…具体物による操作活動、絵図による表現活動、説明を書いたり伝えたりする表現活動の指導
 - 下広小の約束を基にした学習の基盤づくり
 - 指導体制の工夫
 - ・ 指導方法工夫改善教員との連携指導や習熟度別学習を取り入れた個別学習の実施
 - ・ 配慮を要する児童への個別対応指導の実施

《量的管理》

- ◇ 年間指導計画作成
 - 内容の重点との関連設定
 - ・ 全学年国語科、算数科にそれぞれ5時間ずつの計10時間配当
 - ・ 図書館で読書を行う読書活動を位置付け、低学年20時間、中学年5時間配当
 - ・ 道徳の重点内容には、年間2時間ずつ配当
 - ・ チャレンジタイム（補充学習）を年間15時間～25時間配当
 - ・ 人権学習を5,7,8,10,12月に設定し、計画的に実施
 - 組織的・協働的な指導体制
 - ・ チャレンジタイムは複数教員で習熟度別学習を実施
 - ・ 複数教員による朝のスキルタイムの実施
 - ・ 下広小の約束の中から、重点目標の毎月設定と翌月ふり返りの実施
- ◇ 指導時数・学習進度の管理
 - 「2週間週案簿」による時数の自動集計
 - 各集計結果と学習進度のチェック、指導・助言
- ◇ 学級経営案の作成と評価
 - ・ 指導目標や手立てに対する具体的な数値目標の設定と評価（自己他者肯定感検査との関連で児童の変容の分析）